



精福連だより

新年おめでとうございます

平成 23 年が幕を開けました。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は県連の活動方針に基づき、県内 6 ブロックでの「心の病を考える地域学習会」を始め、4 回目の家族相談研修会や要望活動 などに取り組みました。

また、国の「障がい者制度改革推進会議」では「総合福祉法」(仮称)の制定に向け検討されており、「みんなねっと」の川崎理事長はその「総合福祉部会」の中で、精神科医療について①社会的入院の解消 ②保護者制度の撤廃 ③強制入院等に対する人権擁護などについて議論しております。

今後の動きに注目していきたいと思っております。

本年も何かと厳しい環境下にありますが、力を合わせて頑張ってください。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



心の病を考える 地域学習会

大分ブロック (10月22日 大分コンパルホール)

今年度のトップを切って、大分ブロック学習会が大分コンパルホールで開催され、大分すみれ会の福島会長、藤波県連会長、ご来賓の挨拶に続き、次の内容で学習会が行われました。

- ① 講演「心の病の理解と支援」
〔衛藤病院 院長 衛藤 龍 先生〕
- ② 体験発表 (つわぶき園、ワーク大分すみれ会)
- ③ バンド演奏(シニア・ハーモニー・K&K)



中央ブロック (10月26日 日出町保健福祉センター)

- ① 講演「上手な食事のとり方について」
〔東部保健所食育栄養指導班〕
- ② 講演「精神障がい者を支える家族・地域の力とは
— 訪問看護を通じて得た経験から学ぶもの」
〔生活訓練施設やすらぎ社会復帰指導員 大隈 勝彦 氏〕
- ③ 体験発表 (輝くピアホーム、星座オリオン、ひので)
- ④ 家族会活動報告
・国東やよい会
・別府さつき会
・日出ひので会



豊肥ブロック (11月1日 清川・神楽会館)

- ① 講演「統合失調症～社会復帰へ向けて」
〔大分大学医学部精神科 田中悦弘 先生〕
- ② 施設・家族会の紹介
- ③ 豊後大野市ママさんコーラス



県北ブロック (12月4日 真玉会館)

- ① 体験発表 (ひまわり苑 2 名)
- ② 講演「地域で安心して自立した生活を送るには」
—《地域移行支援事業の事例》
〔ぶんご高田相談支援センター
相談支援専門員 合田 昭子 氏〕
- ③ 講演「障がい者雇用の現状」
〔大分クオリティ代表取締役 河野美昭 氏〕
- ④ 家族会活動報告
・中津みどり会
・高田ひまわり会



久大ブロック (12月8日 日田中央公民館)

- ① 講演「出会いに感謝して」
〔熊本県八代市 NPO とら太の会 会長 山下順子 氏〕
- ② 講演「統合失調症に対する理解と対応～最近の治療」
〔上野公園病院 診療部長 大神博央 先生〕
- ③ 小道芸「南京玉すだれ」



県南ブロック (12月11日 臼杵市中央公民館)

- ① 講演「肯定的な理解の大切さ」
〔九州ルーテル学院大学 西 章男 先生〕
- ② 映画上映「ただいま ～それぞれの居場所」



(第4回) 家族相談研修会の開催(7/24)

7月24日(土)、総合社会福祉会館において県障害福祉課四ツ谷課長をご来賓に迎え、また交流の一環として福岡県連の会長、役員以下10名の方の特別参加も得て総勢75名で第4回家族相談研修会が行われました。

今回は「みんなねっと」理事長の川崎洋子氏に講師をお願いし、午前中の講演では「障がい者制度改革と家族支援～家族の状況を変えるために～」と題して、障がい者制度改革推進会議の設立からこれまでの議論の経過、精神保健福祉法の改正に向けた課題、病院からの地域移行、社会を変えるためのこれからの家族会活動等について話して頂きました。

午後からは、ご自身も東京で実践されている家族相談の目的や意義について説明され、つづいて事前に参加者から提起されていた具体的な相談事例をもとに模擬演習と事例検討が行なわれ、家族同士による相談活動の重要性や相談員としての心構えなどを学ぶことができました。



大分県知事への要望書を提出(12/2)

精神障害者の保健福祉施策に関する要望書

家族会は精神障害者が自立した地域生活ができるように医療、保健、福祉の改革を強く求めています。(略)

以上の観点から、下記要望について特段の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. バス、タクシー料金等の公共交通料金の割引適用について

バス運賃、タクシー料金等の割引実施については、精神保健福祉手帳に写真が貼付されることになったことから、全国的にも多くの県で実施されております。本県においても身体、知的障害者と同様の割引サービスが早期に実施されるよう、引き続きご尽力、ご支援をお願いします。

2. 医療費負担の軽減について

精神障害者の入院、通院にかかる医療費は家族の大きな負担になっております。現行の「重度心身障害者医療費給付制度」は、精神保健福祉手帳1級所持者対象としているが、精神科への入院も含めて対象にしていただきたい。また手帳2級所持者も同制度の対象にしていただくようお願いします。

3. 退院促進事業の推進について

条件が整えば退院可能な「社会的入院」に対して、グループホームの設置や市営・県営住宅の利用枠拡大などによる居住支援や相談支援体制の充実などに加え、「精神障害者地域移行支援特別対策事業」等の実施を通して、退院促進と地域生活への移行についての「県障がい福祉計画(第2期)」の目標が着実に実現されるよう、実効の上がる取り組みをお願いします。

4. 県立精神科病院の設置と救急医療体制の整備について

精神保健福祉法第19条に基づく県立精神科病院の設置をお願いします。また、精神障害者の緊急時における適切な医療および保護の機会を確保するため、同法第34条に定める応急入院、医療保護入院に対応できる「応急入院指定病院」の指定と移送体制の整備をお願いします。

5. 就労促進への取り組みについて

今年度、県が精神障害者も対象にして、就労につながる「県庁職場実習生」の募集を行っていただいたことは画期的なことであり深く敬意を表します。これに続き、県や各市町村が精神障害者の雇用に、率先して積極的に取り組んでいただくようお願いします。(以上)

九州ブロック・熊本大会(2/17~18)

—バス・ツアー参加者募集中—

今年度の九州ブロック家族大会は熊本市で開催されます。

(第1日目)

- ・講演「障害者権利条約と保護者制度」
(弁護士 池原 毅和 氏)
- ・記念講演「精神科医療と地域福祉の連携をめざして」
(熊本県精神科病院協会副会長 樺島 啓吉 氏)

(第2日目)

- ・講演「家族相談の意義」
(熊本社会福祉専門学校 邑上 晴美 氏)
- ・分科会(第3分科会に富嶋副会長が発表します)
 - ①家族会と地域福祉
 - ②当事者活動の役割
 - ③活力のある日中活動の場について
 - ④雇用と就労支援
 - ⑤家族相談の意義

「障害者週間」大分大会(12/5)

今年度の「障害者週間」福祉大会は12/5(日)大分県立芸術会館で開催され、当事者3名の体験発表、式典に続き、プロ車いすアスリートの廣道 純 氏による「どうせ生きるならマイナスをプラスにかえる生き方」の講演、ときめき音楽祭などが行われ、県連関係者も

110名を越える多くの皆さんが参加しました。

中でもワーク大分すみれ会の後藤 晃さんの「医療と福祉と私」と題する体験発表は大きな感動を与えました。



【お礼】国会への「心の健康を守り推進する基本法の制定を求める請願書」の署名は、主として家族会および地域学習会の参加者をお願いした結果、現在までに1275筆集まりました。ご協力誠にありがとうございました。

【行事予定】

- 職員研修会 2/25(金)~26(土) 別府・豊泉荘
- 九州地区バレーボール大会 4/23(土) 熊本市
- 第4回みんなねっと全国大会 10/18~19 高松市